

様式B

令和4年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立岡山幼稚園

教育目標 心身ともに健やかで、心豊かな子供を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	
夢中になって遊ぶ子供を育てる	遊びの中でみえてきた学びを読み取り、適切な環境や援助を探る	体験活動の充実	豊かな体験活動	子供たちの体験の充実を目指した教育を行った。遊びの中で、子供が自ら考え、行動できるよう援助をした。また、様々な経験が出来るよう環境構成を整えた。
			地域散策や園外保育の充実	園周辺の和歌山城公園、中消防署、こども科学館等に出かけたり、遠足で岩出緑花公園に出かたりした。園外保育で本物に触れたり、季節を感じたり、自然に触れたりする活動を行った。県立博物館で園児の絵の展示も行った。
			園内環境の工夫	花壇やプランターで、四季折々の花や野菜を育て、遊びに使えるような環境構成をしたり、食育にいかしたりした。園庭が1階・2階に分かれていることを生かし、園児が伸び伸びと遊べる場の環境を整えている。
		豊かな感性や心身の育成	自然とのふれあい	春には、花で色水遊びをし、夏は水遊び、秋には落ち葉等を用いて遊びに生かしている。園庭の植物も子供の興味をもてるように選んで栽培した。JAの協力をいただき、ブロッコリー、大根の栽培を通した食育にも力を入れた。
			生き物とのふれあい	園庭のバッタや幼虫、ダンゴムシにも興味をもって捕まったり、観察したりする教育環境を整えた。また、ウサギや熱帯魚、金魚などを飼育したり、クラスで育てたり、観察したりすることで、生き物に触れ合う場を設定した。
			様々な人とのふれあい	近隣の小学校と年長児のおもちゃ作りの交流遊びを行った。附属中学校3年生は幼児を知るために遊びに来てくれた。また、わくわくタイムでゲストティーチャーの方も来てくださった。
		子育て支援の充実	保護者への啓発	行事の様子や子供たちの活動の様子などをホームページなどを通して、園での取組みを発信した。新型コロナウイルス感染症があるものの、保護者の手作り市も開催することができた。
			保護者との連携	附属中学校音楽部の親子コンサートや親子での体操教室も行った。降園時等に子供の様子や活動の様子を伝えたり、講演会を開催したりして、家庭との連携を深めることに努めてきた。
			親子のふれあいの場の提供	園庭開放は新型コロナウイルス感染症が流行したため、年間を通して中止となったが、親子遠足は実施できた。また、未就園児の集いを行って、親子のふれあいの場を提供した。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

広い園庭ではないが、たくさんの野菜を栽培し、食育にも生かしている。たくさんの生き物も飼育し、環境的にはよく工夫されているとの評価をいただいた。今後も、一人一人の子供の気持ちに寄り添いながら、保護者とともに子供の教育を行い、本園の「心身ともに健やかで心豊かな子供を育てる」という教育目標に近づける努力を今後も進めていきたい。アンケートの項目では、ほとんどの保護者から高評価をいただいた。しかし、園での様子が伝わっていないというご意見もあり、今後、保護者への発信の仕方をもう少し考える必要があると考える。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

本園は単独園ということもあり、特色を生かしながら様々な活動を取り入れてきた。在園児の保護者とは、職員が連携を取り一緒に子供の成長について共通理解するようにしている。しかし、園児数が減少していることが現状である。ホームページや手紙等で随時、幼稚園について知らせる努力はしているが、保育内容や子供の遊びを通した学び等、まだわかかっていただけていない部分が多いと感じている。今後も未就園児の集いに参加して下さる親子に幼稚園について知ってもらう機会を大切にしながら幼稚園についてお知らせしていきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

園舎は経過年数に比して、とても清潔な印象がある。園内も整理整頓ができていて、良い環境である。子供たちは、自分の興味の在ることに積極的に取り組む姿が見られた。子供たちが学年を超えて一緒に遊んでいる姿から、遊びの中での学びができていると感じた。遊具や遊び方にも工夫があり、子供たちが楽しく過ごせている様子がうかがえた。園の敷地内に実のなる木、畑が豊富で野菜や果物がたくさん栽培されており、季節感も感じられ食育につながる工夫がされていると思う。園内の保育室の近くに給食室があるので、匂い等でも「食」について興味をもてると感じた。